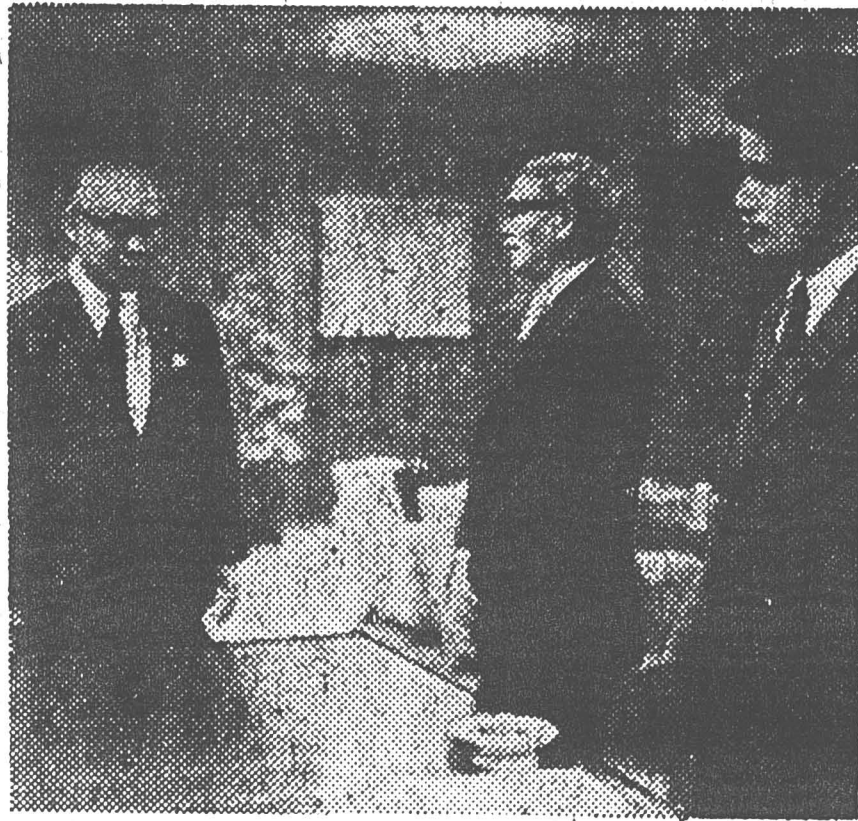


結論、四月中に出す

水俣病補償処理委

陳情の代表に表明



内田厚相（左）に陳情する水俣病患者互助会代表

ができるだけ早く出るよう陳情した。

これに対し内田厚相は「水俣病問題についてはよく承知しており、一日も早く公正妥当な結論が出るよう望んでおり、その旨処理委にも伝えます」と答えた。

代表はこのあと、東京・平河町都市センターで水俣病補償処理委の千種達夫座長らにも会い、はやく結論を出すよう訴えた。これに対し千種座長らは「四月中に結論を出すよう努力している」と答えた。水俣病患者代表が内田厚相に会うのは初めて。

「補償処理委が出来てからもう一年にもなり生活は苦しい。一日もはやくあつた案を出してほしい」と代表たちが要望書を読み上げると、厚相は「この問題は私も以前から知っている。はやく公正で妥当な結論を出してもらえよう努力する」と真剣な表情で答えた。

また補償処理委側との話し合い

は長時間に及んだが、千種座長らは、この中で次のような考えを明らかにした。

一、結論を四月中に出すよう努力している。

二、結論が遅れてもマイナスにはならない。年金は昨年四月分までさかのぼって出す考えだし、会社側もそれに応じるといふ見通しも持っている。

三、一時金は年金をさかのぼって実施するのは別に、一時金は一時金として処理する考えだ。

（東京支社）